

日本とカナダは、日本・カナダ次官級経済協議を再活性化

2016年10月20日 於：オンタリオ州オタワ カナダ・グローバル連携省

2016年5月のジャスティン・トルドー・カナダ首相と安倍晋三日本首相の会談に続いて、10月20日、日本・カナダ次官級経済協議（JEC）会合がオタワのカナダ・グローバル連携省本部にて開催された。

カナダと日本の間の経済関係を向上させるための重要な枠組みであるJECは、本年、40周年を迎える。両国首脳が本年5月に会談を行った際、両者は、インフラ、エネルギー、科学技術協力、ビジネス環境の改善・投資促進、及び観光・青少年交流の5つの優先協力分野により重点化するためにJECを再活性化することに合意した。

今般のJEC会合では、カナダのクリスティン・ホーガン国際貿易次官と日本の片上慶一外務審議官が各国を代表した。両国は、再活性化したJECの枠組みにおいて、5つの協力優先分野に関し作業することを決定した。

（参考：日本・カナダ次官級経済協議）

カナダ・グローバル連携省と日本外務省が主導する協力作業部会は、インフラ、エネルギー、科学技術協力、ビジネス環境の改善・投資促進、及び観光・青少年交流の協力優先分野における進捗を促進する。

インフラ

- 多国間フォーラムでの「質の高いインフラ投資」に関する政策連携を継続するとともに、ステークホルダーに対し、インフラ投資及び支援を「質の高いインフラ投資の推進のためのG7伊勢志摩原則」に沿ったものにすることを奨励する。
- 官民パートナーシップに関するカナダ側の知見を共有するとともに、日本側のステークホルダーに対し、11月に開催されるカナダ官民連携評議会（CCPPP）年次総会への参加を奨励する。
- カナダ、日本及び第三国市場において、関連機関及び企業間の連携の機会を探求する。

エネルギー

- エネルギー安全保障における共通の戦略的利益を認識する。

- 液化天然ガス輸出施設開発プロジェクトを含む、エネルギー・インフラ投資の促進のために現在行われている取組を支援する。
- クリーン・エネルギー技術に関するパートナーシップを促進する。
- 今後五年間のクリーン・エネルギー・イノベーションへの政府投資を倍増し、他のミッション・イノベーション参加国と共に世界的なクリーン・エネルギー・イノベーションの加速化に取り組みつつ、関連技術の研究開発に関する二国間連携を探求する。
- 「石油・天然ガスに関する協力声明」に基づく第二回対話の開催に関心を有することを確認する。

科学技術協力

- 以下を含む、科学技術協力合同委員会の成果を基礎とする。
 - ー 日本学術振興会と、カナダと国際パートナー間の双方向の研究連携を支援するカナダのNGOであるマイタクスとの間の研究者交流プログラム等の新たな協分野を重点とすること。
- 両国技術部門にとり戦略的な関心事項となり得るカナダと日本の革新的技術に関する情報共有について、より調和化されたアプローチを採用する機会を探求する。

ビジネス環境の改善・投資促進

- 日本貿易振興機構（ジェトロ）の参加、及びジェトロ・トロント事務所で新設される「カナダ・日本ビジネス促進窓口」を通じ、民間部門の意見をJECの議論に更に反映させる。
- 日本企業のカナダでの新規投資、維持及び拡大を支援するために、ジェトロ等の機関との連携を促進する。
- エネルギーやインフラ等の主要投資部門への専門業務事業者の移動を促進する方法を探求する。
- 両国に関心を有する革新的な新技術における連携の機会を議論する。
- 貿易投資を促進するための連携を深化させる方法を検討する。

観光・青少年交流

- オリンピック・パラリンピック競技大会等の主要行事の成功裏な開催に関する情報共有等によって、観光客を双方向で増加するための協力強化の方法を探求する
- 様々な奨学金及び青少年交流合意に基づく、研究者、学生及び企業関係者のためのインターンシップ・プログラムを含む、青少年交流を促進する。